

キャベツの中から（エプロンシアタ）	
ねらい	○繰り返されるメロディに合わせた簡単なお話に耳を傾ける、対象物に視線を向ける。
特徴	○安全に子どもの近くで提示できるよう、エプロンシアター形式にした。キャベツの葉っぱをポケット式にして青虫たちを隠し、「キャベツの中から」の歌に合わせて取り出していき、マジックテープで貼り付くようにした。



キャベツの中から（手袋シアター）	
ねらい	○繰り返されるメロディに合わせた簡単なお話に耳を傾ける、視線を向ける。
特徴	○安全に子どもの近くで提示できるよう、手袋シアター形式にした。はじめは指を折って青虫を隠しておき、「キャベツの中から」の歌に合わせて青虫を見せる。最後に手を裏返してちょうちょを見せることで結果を期待できるようにした。



エコキャップ数え（10こずつ）	
ねらい	○10までの実数を正しく数えることが自分でできる。
特徴	○休校期間中の自宅学習用に作成した。数字が表示された台とミニカップにマグネットをつけて取り外し可能にし、コンパクトに収納できるようにした。ペットボトルのキャップは裏返して入れると取り出しやすかったが、対象児はキャップのロゴが見えるように入れたかったようで、はじめは納得がいかなかったとのこと。学校再開後はスムーズに取り組めた。



10個数えたら、ファスナー付きの透明袋に入れる。

10数えよう（その1）	
ねらい	○タイルを1～10個、順に並べることができる。
特徴	○色を区別して並べたり組み合わせたりすることが好きなお子さんに対して、タイルは10色に分けて、視覚的にまとまりをとらせることができるようにした。はじめは階段の下の数字と、色見本シートを敷いておき、慣れてきたら、シートを外して並べるようにした。また、5のまとまりを意識できるように5のラインで土台の板を色分けした。



10数えよう（その2）	
ねらい	○数字を見てタイルを1～10個並べることができる。
特徴	○5のまとまりを意識できるように5のラインで土台の板を色分けした。「10数えよう（その1）」で答え合わせができるよう、同じ大きさにした。



チカチカ（その1）	
ねらい	○光に気づいてよく見る。（視覚的に弱いお子さんに対して）
特徴	○クリスマスツリーのライトを黒段ボールに挿して1つ1つの光を見やすくした。各光を短く切ったラップの芯で覆い、より光を強く感じられるようにした。 覆い被さるように見入るお子さんなので、透明下敷きでカバーした。



チカチカ（その2）	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○光に気づいてよく見る。（視覚的に弱いお子さんに対して） ○右と左があることに気づく。 ○蓋をスライドさせて光を見る。
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○クリスマスツリーのライトを黒段ボールに挿して1つ1つの光を見やすくした。光るタイミング別に光のまとまりを左右に分けた。覆い被さるように見入るお子さんなので、透明下敷きでカバーした。光を見ることに興味をもつことができたなら、蓋で覆い、自分でスライドさせて光を見る学習に取り組む。



Rさんの部屋	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○光に気づいてよく見る。（視覚的に弱いお子さんに対して） ○左右に転がるボールを目で追う。
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○黒段ボールで囲いを作り、光を見やすくした。クーゲルバーンの角度を変えられるよう、マグネットで貼るようにした。



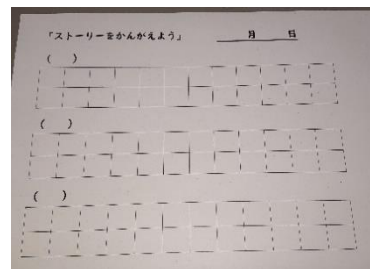
みぎ・ひだり	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○スイッチを押すと音がすることに気づいて自分から教材にかかわる。（視覚的に弱いお子さんに対して） ○左右のスイッチとスピーカーを分け、左右に違いがあることに気づく。
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○スイッチとスピーカーを左右に分けた。対象児が好きな素材を扱い、色を分けてスイッチ面に貼り付け、さらに透明の滑り止めシートを片側に貼り付けて、感触に違いをつけた。



トイレのけいかくボード	
ねらい	○自分の考えを視覚的に表現できるようにすることで、「トイレトチェアを使うぞ」という気持ちを見童自身から引き出すことをねらって制作した。
特徴	○1週間の計画を立てるようにすることで、見童が自分の思いを表現できる糊代を持たせた。(頑張る日と休む日を交互にするなど) ○最近学習した曜日の漢字や、成功した時の「あっぱれ」カードなど、見童の興味をひけるようにした。

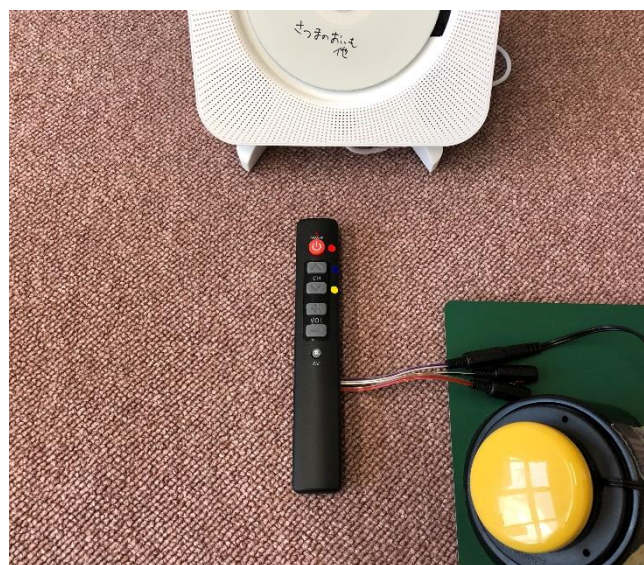


ストーリーをかんがえよう	
ねらい	○絵カードを見て「〇〇が△△した。」の単文が書けるようになった見童が、「始め・中・終わり」の三段落構成を意識して文章を書くことをねらい作成した。
特徴	○バラバラになった絵カードを並べ替えて、自分なりのストーリーを考える。見童が操作しやすいように、カードに厚みを持たせ、磁石でホワイトボードに固定できるようになっている。 ○「はじめ・なか・おわり」を意識するために3枚構成になっているが、次のステップとして1枚追加して4枚構成にすることもできる。

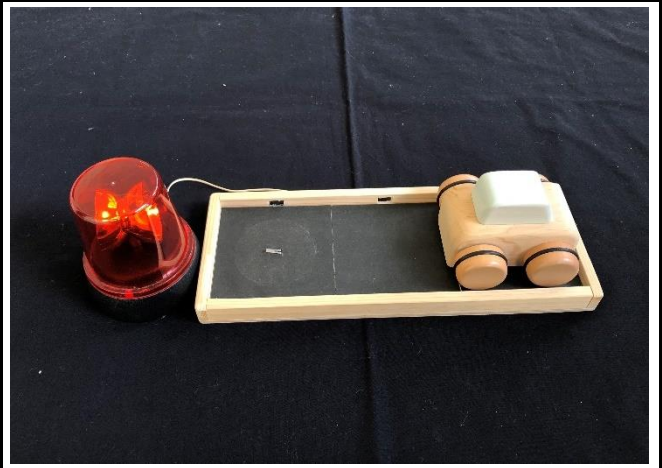


※絵カードのイラストは、webサイト「専門家が作る子供向け無料プリント「やんちゃワーク」のものを使用した。
<https://yanchawork.com>

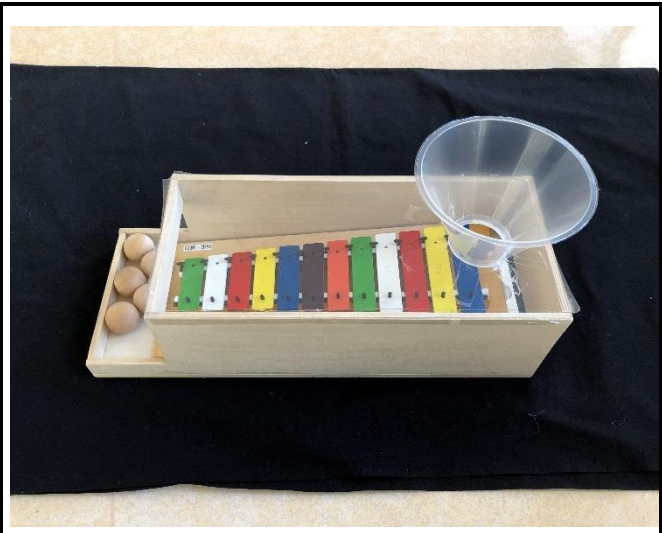
すきなうたをさがそう	
ねらい	○スイッチを押すと、好きな曲までスキップしたり、戻ったりして、自分の意思で楽しく過ごせるように作成した。
特徴	○市販の学習リモコンを改造した。電源、スキップアップ、スキップダウンの3モードをつけかえることができる。赤外線リモコン付きのCDデッキが別途必要。 ○改造はやや難しいが、他のリモコンでも使えるため、例えばテレビのチャンネルを自分でかえられる等、汎用性が高い。



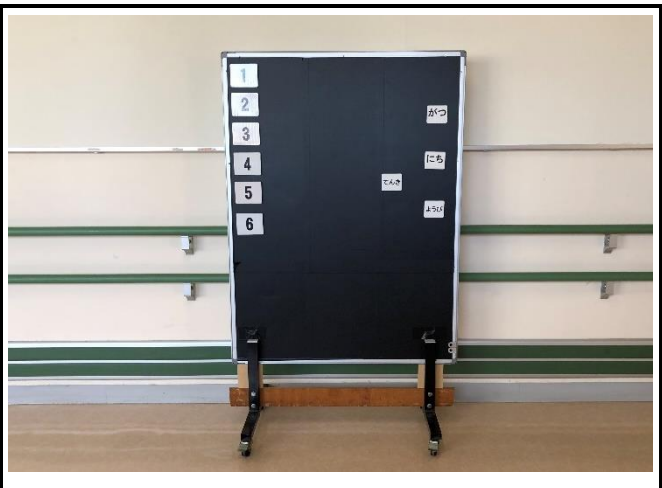
スライドカー	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○手に方向性を出す。 ○始点と終点を理解する。 ○行為と結果の因果関係がわかる。
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○車を動かして、端までたどりつくと、埋め込んであるスイッチが作動し、パトランプが光る。パトランプは振動するもの等、児童の好みによって、入れ替えが可能。



メロディー玉入れ	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○手元を見る。対象物に視線を向ける。 ○玉をつかんで放す等、手の操作性を高める。 ○行為と結果の因果関係がわかる。
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○パチを持ってたたくことが難しい児童向けに、市販のミニグロッケンを入れるケースを作成した。傾斜をつけたグロッケンの上を玉が転がり、メロディーが鳴る。玉を持つことが難しい児童は、じょうごの部分を外して、玉を穴に押し込むようにすれば、使用が可能。



移動式 朝の会ボード	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○どんな場所でも朝の会ができる。 ○朝の会以外の授業でも、写真カード等を貼って、児童に視覚的に手がかりを伝えられる。
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○市販の特大白ボードに、黒い大判シールを貼り、マグネットが対応するようにした。背景がごちゃごちゃしている場所でも、視覚的にすっきりした学習環境を作ることができる。裏面は白で、状況に応じて使い分けもできる。



触って触ってスイッチオン	
ねらい	○右手でスイッチを探索できることから、色々な素材で感覚遊び、探索遊びをしながら、スイッチを押して楽しいことを知ることをねらいに制作した。
特徴	○7面にスイッチを埋め込み、それぞれ違う素材を貼ることで感覚遊びをしながら、スイッチを探り音楽を聞いたり、おもちゃを動かしたりできるようにした。(ザラザラ、つるつる、フワフワ、児童が制作した作品等も入れた7面)



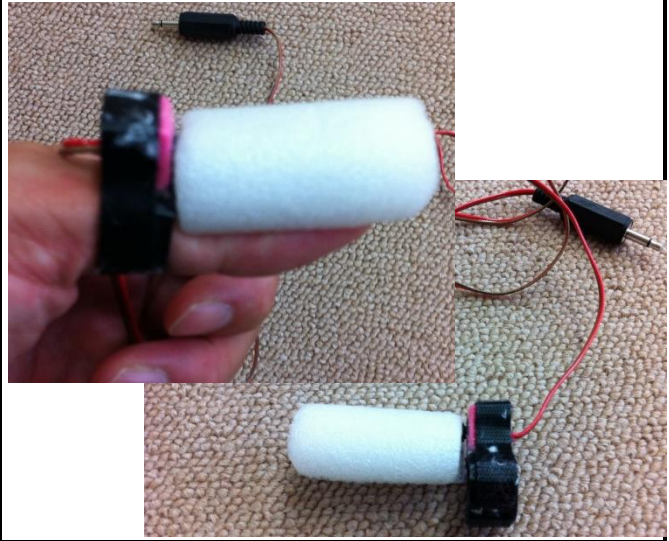
スマイルバード	
ねらい	○児童が自然に触れられる場所に置いて使用する。自分が物に働きかけることで、音や振動がすることをすることをねらいに制作した。
特徴	○ぬいぐるみの中に入っている部品を取り出し、シンプルにすることで、児童が軽くタッチするだけで、振動しながら笑うようにした。



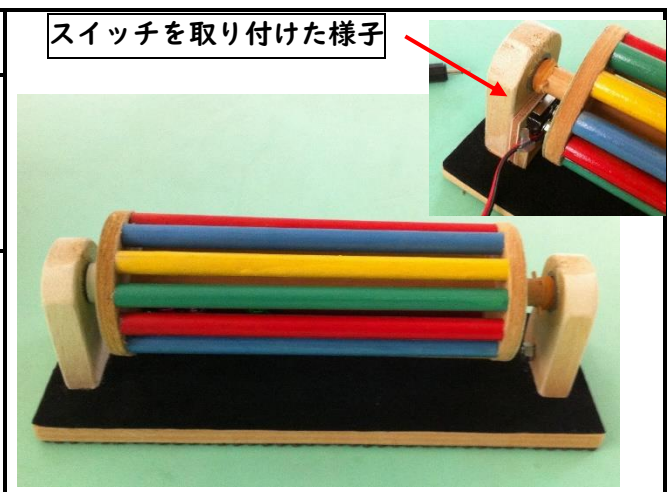
ぐるぐるマシーン	
ねらい	○体育の授業で、ものを回すことの好きな児童が、上肢を大きく動かすために制作した。
特徴	○手を上から下に動かす簡単な動きで、変化を感じやすいようにした。 ○箱の中に鈴を入れ、聴覚でも楽しめるようにした。 ○箱に児童が好きな絵を貼り、回して絵を揃えても楽しめるようにした。



フィンガーレバースイッチ	
ねらい	○親指を外転する動きが見られる生徒が、VOCA や Smile Loco(電動移動機器)を操作して、自分の気持ちを伝えたり、自分の動きで移動したりすることを楽しむことをねらいとして製作した。
特徴	○どの方向から倒してもスイッチが入る。 ○作動圧(6g~)が低く、小さな動きで操作が可能。 ○両面ファスナーでスイッチを指に固定できるため、フィッティングしやすい。 ○スイッチをずれにくくするため、レバーの内側部分をアーチ状にカットしている。



ローリングベル	
ねらい	○叩く、引くなどの動きが見られる児童に対して、手首や指先の動きを引き出すことをねらいとして製作した。
特徴	○鈴が鳴る音と鈴が木に当たって鳴る音を楽しむことができる。 ○フィードバックのバリエーションを増やせるように、必要に応じてスイッチを取り付けることができる。



電動落下装置 de キャップ入れ	
ねらい	○意図的に首を動かし、顔の向きを変えることでビュクススイッチを押せる児童が、自分の動きでキャップを入れ、誰かの役に立つ経験や「お願いします」「ありがとう」などの言葉に気づいたりすることをねらいとして製作した。
特徴	○電動落下装置からキャップが落ちる際に、パイプシロホンが鳴るようにし、児童が視線や意識を向け、キャップが入ることがわかるようにした。また、楽器の音を聞いて、児童が意欲的に取り組めるようにした。



傾斜付き50音タイル	
ねらい	○ひとつひとつの文字が組み合わさることで、単語が成立することを理解する児童が、自分で操作をして単語構成を行うことをねらい作製した。
特徴	○タイルが平面上に置かれてしまうと、取り出すことが難しいので、各枠に45度の傾斜をつけた。そうしたことで、自分でタイルをつまんで取り出し、単語を構成することができた。



木製カード&カード台	
ねらい	○ものを選択したり、数を数えたりするときに、児童が自分で操作できる状況をつくることをねらい、製作した。
特徴	○対象とする児童が、カードをつかもうとすると、力が強く入るため、折れ曲がってしまう。そこで薄いMDF材をカットして作製した。また、合わせてそのカードを取りやすいように、台を作製した。



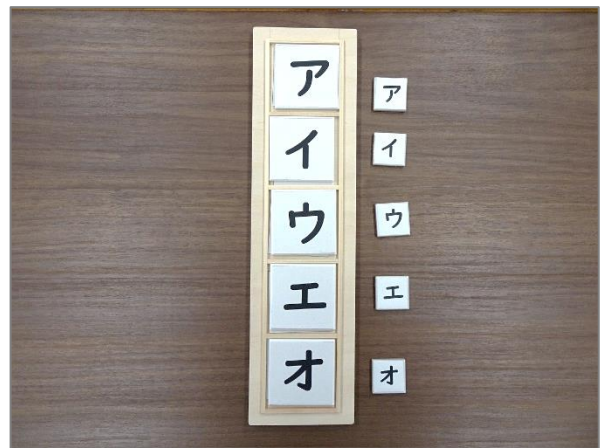
見本合わせ教材～どっちが同じかな？～	
ねらい	○ひらがな文字の学習をしている児童が、文字の形をきちんと見比べて、同じ文字を選択することをねらい、作製した。
特徴	○外部スイッチとつなぐことができる。正しい枠に文字を入れることができたときに、おもちゃが動いたり、音声が流れたりといった状況をつくることができる。写真やイラストに変えて使用することも可能。



ひらがなの学習～はじめの一步～	
ねらい	○写真やイラストの見本合わせが正しくできるようになった児童が、読み方やもの名前を構成するなどの文字の特性に触れながら、学習することをねらい作製した。
特徴	○児童の興味関心のあるもの（きちんと自分で言語化できるもの※言語化の言語は音声言語に限らない）を拠点にして、学習を始められるようにした。写真のマッチングを行い、「なぐもせんせいのな」のように文字の学習を行った。



大きなタイルでアイウエオ	
ねらい	○カタカナ文字の学習に取り組むとき、その字形を見比べ、違いに気づくことをねらい、大きめのタイルを併用して学習した。
特徴	○ひらがな文字に比べて、カタカナ文字は直線で構成されるため、小さなタイルであると見比べることが難しい様子が見られた。児童が「できる」と思えるように、大きなタイルも使用することにした。

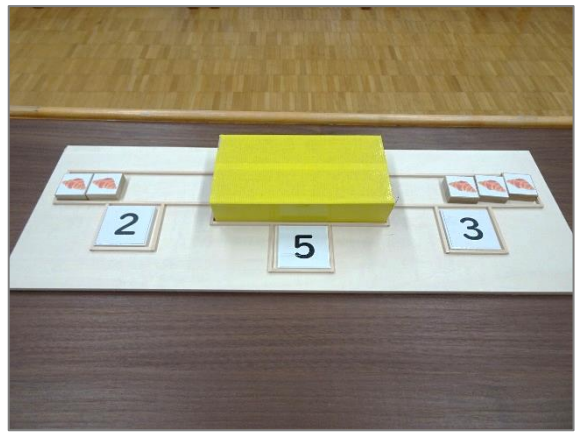


大きなタイルでアカサタナ・ハマヤラ	
ねらい	○小さなタイルであると、カタカナ文字の字形の違いに気づきづらい児童が、その違いを捉えることをねらい、作製した。(行と列の学習を並行して行った。)
特徴	○文字を大きくして、字形を見比べやすい状況をつくった。同型の枠を複数用意することで、教師が手本を示すなどのかかわりもできる。 (対象児童は、ひらがな50音表の形をつかんでいるため、どのように枠を提示するかで、行と列のどちらを問われているかを考えることができる)



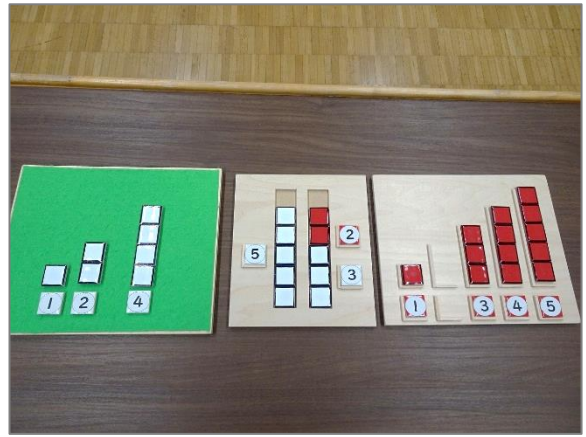
トンネルでたしざんをしよう

ねらい	○加算の学習において、被加数と加数を合わせたときの数量をイメージして、計算することをねらい、作製した。
特徴	○トンネルの中に、双方に置かれたタイルを入れることで、数量をイメージする状況をつくった。また、使用するタイルは、児童の興味関心によって複数種類用意した。



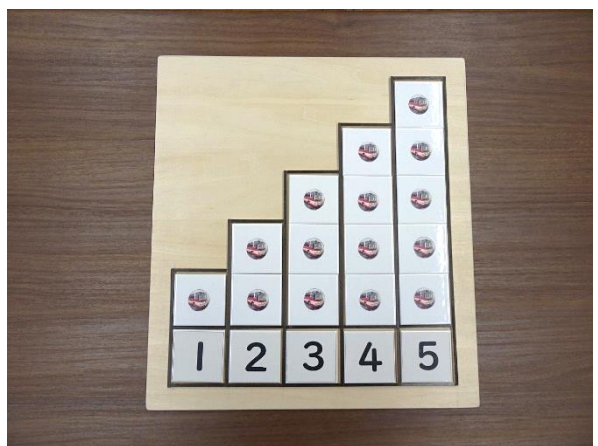
いくつといくつ？

ねらい	○5までの数の組み合わせを学習すること（見当をつけたり、組み合わせを覚えたり、複数の組み合わせ方があると知ったりすること）をねらい、作製した。
特徴	○使用する色を分けたことで、数字を組み合わせることを捉えやすい状況をつくった。また、タイルは、棒タイルを使用した。そうしたことで、数量の大きさをよりつかみやすくした。

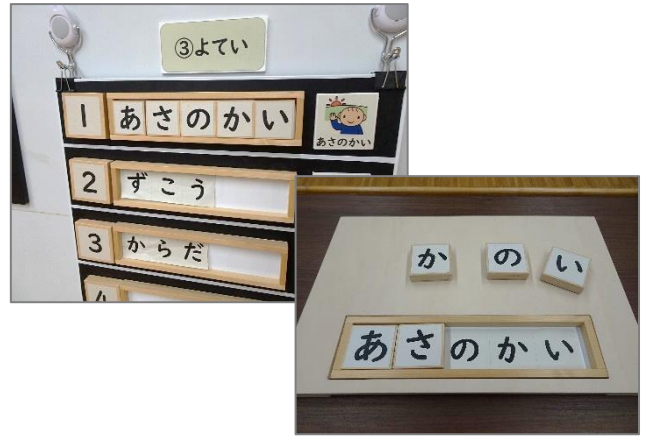


数の階段 1 から 5

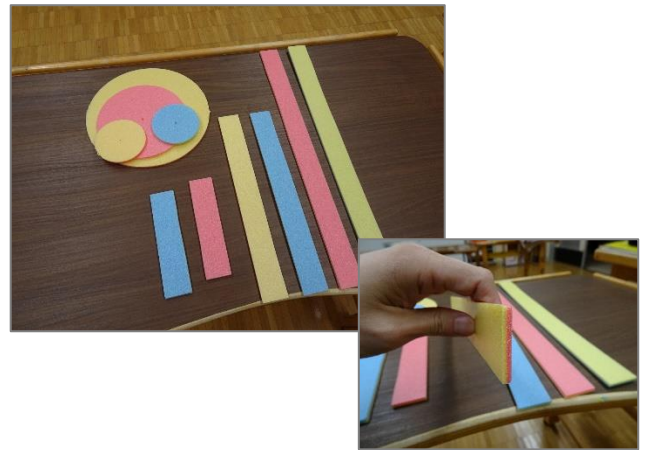
ねらい	○数詞と数量の関係をつかむことをねらい、作製した。（前段階として1から3までの学習を重ねた。3までの数の階段だけでなく、数量と数唱が一致するように教材を数えるなどの学習を行った。）
特徴	○タイルの数を数えやすくするために、一枚一枚のタイル中央にマークをつけた。また、そのマークは使用する児童の興味関心に合わせたマークにした。（タイルは棒タイル、枠に天井のある状況）



みんなでつくる予定ボード	
ねらい	○ひらがな文字の学習をする児童が多く在籍するクラスの日常に、文字を使用する機会を増やすことをねらい、(そこで文字の学習をすることをねらい)作製した。
特徴	○木製タイルも、枠もマグネットがついており、ホワイトボード等に張り付けることができる。タイルを持つことは難しくても、滑らすことができる児童のために土台を用意した(右下の写真)。



どっちが大きい?どっちが長い?	
ねらい	○比較によって意味(表現)が決まる大小や長短の学習を行う際に、きちんと比較して言葉を選ぶ状況をつくることをねらい作製した。
特徴	○比較によって定義づけられる言葉のため、状況を変化させながら学習しなければ、パターンで学習してしまう可能性がある。そこで、表と裏で色の異なる発泡スチロールで教材を作製し、状況(表裏)を変化させながら使用した。



タッパーVOCA (ひき抜きバージョン)	
ねらい	○輪っかやひもを引っ張ることが得意な児童が、紐を引っ張ることで気持ちを伝えることができることをねらって製作した。
特徴	○ピンを引き抜くことで、録音した音声(最大10秒)が流れる。 ○児童の側に常設する目的であるため、紐などが児童の体や周辺機器に絡まないように引き抜けるタイプにした。※誤飲等の危険が考えられる場合には注意が必要。



<h2 style="text-align: center;">布スクリーン</h2>	
ねらい	<p>○バギー等に乗っていて姿勢の調節が難しい児童生徒が、プロジェクターに映し出される視覚情報を得やすくなることをねらいとして製作した。</p>
特徴	<p>○サイズは約 100cm×200cm</p> <p>○下についている重りを移動させることで、ある程度の角度調整が可能。(カメラ用三脚に固定してある小型プロジェクターも合わせて角度調整が必要)</p> <p>○布製で児童生徒が触っても安全。</p> <p>※Wifi 対応プロジェクターであれば、iPad 等の画面を Airplay で映し出すことができる。</p>

